平成28年度 新潟県立加茂農林高等学校 スパープ

(その1 普通教科編)

普通教科

- (1) 国 語
- 迎地理歷史 公民
- (3) 数 学
- (4) 理 科
- (5) 保健体育
- (6) 芸 術 (音楽)
- (7) 外国語(英語)
- (8) 家庭

	<u> </u>	<u> </u>
教科(科目)	国語(国語総合) 単位数 4 単位 学年(学科・コース)	<i>1年</i>
使用教科書	高等学校新編国語総合(第一学習社)	授業形態 必修
副数材	基本級別漢字(浜鳥書店)	

科目目標

国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力を伸ばし心情を豊か にし、言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図る態度を育てる。

2 学習				
月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	漢字ノート作成および	ノートに書写することで漢字の読み書きを確実にし、語彙を増や	3h	課題提出
	その確認(各学期共	す。		漢字テスト
	通)			
5	「人はなぜ宇宙を思う	筆者が自らの考えをどのように整理し表現しているか考える。	8h	
	のか」			
	(表現)	きまりに従って文字の書き分けができ、仮名遣い・送り仮名など	10h	
6		が正しく書けるようにする。		
	「指」	登場人物のやりとりを心理の流れに注目しながら整理する。また	10h	中間考査
		言動から心の動きを読み取る。		
	(表現)	基本的な原稿用紙の書き方を身につける。句読点の原則的な使	10h	
7		い方を身につける。		期末考査
	古文を読むために1	現代文と古文との違いを認識する。(歴史的仮名遣いとその読み	8h	
		方・古語について)		
	漢字ノート作成および	ノートに書写することで漢字の読み書きを確実にし、語彙を増や	3h	課題提出
8	その確認(各学期共	す。		漢字テスト
	通)			
	「鳩と蟻のこと」	古語辞典を利用して古語の意味を知り、それを手がかりに現代語	4h	
9		訳する手順を理解する。		
	「児のそら寝」	登場人物の心の動きをとらえ、古典を読む楽しさを味わう。	6h	
	(表現)	熟語構成・四字熟語・類義語・対義語など熟語について基本を理	8h	中間考査
10		解する		
	「日本語のこころ」	外国語と日本語の表現の比較を読むことで身近な日本語の表現	10h	
		の特徴、日本人の考え方の特徴に気付く。		
11	訓読に親しむ(一)	漢文を学習する上での基本的な事項を身につける。(返り点・送	10h	
	(二)(三)	り仮名・書き下し文・再読文字・助字)		期末考査
	(表現)	報告文や手紙文などを理解し、書けるようにする。また、接続詞	8h	
12		や副詞などの正しい係り受けを理解する。		
l _		ノートに書写することで漢字の読み書きを確実にし、語彙を増や	3h	課題提出
1	その確認(各学期共	す。		漢字テスト
	通)			
	「五十歩百歩」	書き下し文、現代警訳を整理したノートをつくる。	8h	
l _		孟子の発言のあらすじをつかむ。		
2	(表現)	敬語の正しい使い方や慣用句の使い方を理解する。	8h	
	「羅生門」	場面の変化による酸落分けをした上で主人公の行動・心理の変		
		化を追い、全体の構成を把握する。		
l _		主人公の心理描写を正しく読み取り、自分なりの感想を持つ。	14h	
3		比喩表現、古典的・現代的表現などに注目し、その効果について考		
		える。		学年末考查
	(表現)	感想文を書くことを通じて、自分の考えを持ち、それを的確に説	9h	
		得力を持って述べる技法を学ぶ。		

О н і іщ /уц — ч		
観点	基 準	評価方法
関心・意	わかりにくい言葉・表現を調べようとしているか。/言語・文学に関心を持	
欲·態度	ち、意欲的に参加しているか。/課題、発問に対して意欲的に考えて取り組ん	
	でいるか。	・授業中の小テスト・課
話す・聞	他者の説明を的確に聞き取っているか。/聞き手に正確に伝えるために、わか	題や作文の提出状況・授
く能力	りやすい言葉で述べているか。	業への参加状況などを総合し、100点法で評価
書く能力	筆者の意見や考えを的確に理解し、まとめることができるか。/自分の意見	する。
	や考えを適切に表現できるか。	
読む能力	筆者の主張や作品の主題を的確に捉えているか。	
知 識	新出漢字や語彙・文法・句形を理解しているか。/知識に基づき文意を正確に	
理解	理解しているか。/作品・筆者について文学的知識を深めているか。	

教科(科目)	国語(国語総合) 単位数 3 単位 学年(学科・コース)	2年
使用教科書	高等学校改訂版新編国語総合(第一学習社)	授業形態 必修
副教材	基本級別漢字(浜島書店)	

1科目目標

国語に関する基礎的・基本的な学力の定着を図る。国語を的確に理解し表現する力を育成する。言語感覚を磨き、言語文化に対する関心を深める。思考力を伸ばし心情を豊かにするとともに、国語を尊重し、その向上を図る態度を育成する。

2 学習計画

2 子百 月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	漢字ノート作成およ			課題提出
	びその確認(各学期			漢字テスト
	共通)			
	「身近な動植物の名	「自然」と「人」との関係について考えることを通して、自己	13h	
	前を覚えよう」	を見つめ直す。		
5				
	「矛盾」	漢文の基本的な事項を確認する。(返り点・書き下し文など)	6h	
		話のあらすじをつかみ、現在の意味とのつながりを考える。		中間考査
6				
	「かぐや姫のおひた	古語の助動詞の意味を理解し、読解に役立てる。	15h	
	ち」	登場人物の行動・心情を読み取る。		
7				
	「詩の楽しみ」	詩の言葉にこめられた固有の意味を理解し、味わう。	9h	期末考査
		主題を通して作者の考え方やものの見方について考える。		
8	「よだかの星」	主人公の置かれた状況を整理し、心理と行動の関係を把握する。	12h	課題提出
9		情景描写に表される心理を読みとる。		漢字テスト
10	「短歌の世界」	短歌の修辞について理解し、鑑賞方法を学ぶとともに優れた表	12h	
		現を味わう。		中間考査
11	「漢詩の世界」	漢詩の基礎知識や決まりを理解する。	10h	
		詩人の心情を読みとり、当時の自然観・人生観について考える。		
				期末考査
12	「体験を書く」	修学旅行において体験したことを書く。	8h	課題提出
1	「漢詩の世界」	2 学期の継続	6h	課題提出
				漢字テスト
2	「筒井筒」	登場人物の境遇を考え、心情を読みとる。	12h	
3		和歌の修辞法や効果について学び、和歌に込められた心情を味		学年末考査
		わう。		

9 н пш/уш т		
観点	基準	評価方法
関心・意	わかりにくい言葉・表現を調べようとしているか。/言語・文学に関心を持	
欲·態度	ち、意欲的に参加しているか。/課題、発問に対して意欲的に考えて取り組ん	定期考査・漢字テスト・
	でいるか。	授業中の小テスト・課題
話す・聞	他者の説明を的確に聞き取っているか。/聞き手に正確に伝えるために、わか	の提出状況・授業への参
く能力	りやすい言葉で述べているか。	加状況などを総合し、
		100点法で評価する。
書く能力	筆者の意見や考えを的確に理解し、まとめることができるか。/自分の意見	
	や考えを適切に表現できるか。	
読む能力	筆者の主張や作品の主題を的確に捉えているか。	
知 識	新出漢字や語彙・文法・句形を理解しているか。/知識に基づき文意を正確に	
理解	理解しているか。/作品・筆者について文学的知識を深めているか。	

教科(科目)	国語(現代文) 単位数 4 単位 学年(学科・コース)	3年
使用教科書	現代文A(大修館書店)	授業形態 必修
副教材	基本級別漢字(浜島書店)	

1科目目標

近代以降の様々な文章を読むことによって、我が国の言語文化に対する理解を深め、生涯にわ たって読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	漢字ノート作成およ	ノートに書写することで漢字の読み書きを確実にし、語彙を増	2h	課題提出
	びその確認(各学期	やす。		漢字テスト
	共通)			
	「迷う」力のすばら		8h	
	しさ	豊かさであるという筆者の考えを読み取る。		
	「ざしきわらし」	登場人物の心情や人物像をとらえる。	12h	
5	, 60647901	- 豆場へ物の心情でへ物味でとったる。 - 「ざしきわらしがいる」ということが象徴していることを読み	1211	中間考査
		取る。	14h	THUSE
	「ウサギの耳はなぜ	│ │ 共進化とはどのような概念かを理解し、自然界に対する興味を		
6	長い?」	深める。		
				期末考査
7	「小賭なる古城のほ	詩の基本的な形式や表現技法の使われ方について理解する。	10h	
	とりみ」他	作品の主題について考える。		
8	「青が消える	作品の場面展開をおさえ、主人公の心情をおさえる。	14h	<i>D1.10 DC D</i>
9	(Losing Blue)j	「青が消える」ということが象徴していることを読み取る。		漢字テスト
	「幸せの分量」	現体なみにかはてキエレはほかにっいて 第本の主張を結び取	12h	
10	「辛せの方量」	現代社会における幸せとは何かについて、筆者の主張を読み取 る。	1211	 中間考査
'				T 1) 写 点
	「山月記」	 すぐれた短編小説の持つ、たくみな構成を理解し、小説を読む	22h	
11		楽しさを感じ取る。		
		主人公の心の葛藤や生き方について考える。		期末考査
12		主題を通して、自分の心のありかたや生き方をみつめる。		
1	「家族化するペット」	ペットの家族化が示す現代社会の様相について読み取る。	12h	課題提出
		現代社会の問題について、自分なりの問題意識をもって考えを		漢字テスト
		深める。		<u> </u>
				学年末考査

観点	基準	評価方法
関心・意	わかりにくい言葉・表現を調べようとしているか。/言語・文学への関心を	
欲•態度	高め、意欲的に参加しているか。/教材文に興味を持ち、筆者が伝えたいこと	
	を読み取ろうとしているか。/課題、発問に対して意欲的に考えて取り組ん	漢字テスト・定期考査
	でいるか。	・授業中の小テスト・課
話す・聞	他者の説明を的確に聞き取っているか/伝えたいことを明確にし、わかりや	
く能力	すく相手に伝えているか。	参加状況などを総合し、
		100点法で評価する。
書く能力	筆者の意見や考えを的確に理解し、論理的にまとめることができるか。/自分	
	の意見や考えを適切に表現できるか。	
読む能力	筆者の主張や作品の主題を的確に捉えているか。	
知 識	新出漢字や語彙・文法・句形を理解しているか。/知識に基づき文意を正確に	
理解	理解しているか。/作品・筆者について文学的知識を深めているか。	

教科(科目)	世界史A	単位数	3 単位	学年(学科·	コース)	2年生	
使用教科書	新版 世界史A		扳		•	授業形態	必修
副教材	明解世界史図部	[エスカ]	リエ				

1科目目標

原始から近代までの世界史を、各地域の概略史を踏まえながら通史で学習する。現代社会の根幹 を成す政治・経済・文化の発達を系統的に理解させる。 2 学習計画

序章世界史への 人類の誕生・狩猟採集から農耕牧畜への発展・文 いざない 明の起源を学ぶ。 10 平	評価方法 題プリントを 期的に配布し 常点として評 する。〈通年 〉
	期的に配布し 常点として評 する。〈通年
いざない 明の起源を学ぶ。 10 平 5 第1章ユーラシ 四大文明の発祥と諸地域の古代史から中世史まで アの諸文明と交 の概略を、政治・経済・文化の特徴を明確にしつ	常点として評 する。〈通年
5 第 1 章ユーラシ 四大文明の発祥と諸地域の古代史から中世史まで アの諸文明と交 の概略を、政治・経済・文化の特徴を明確にしつ	する。〈通年
5 第1章ユーラシ 四大文明の発祥と諸地域の古代史から中世史まで アの諸文明と交 の概略を、政治・経済・文化の特徴を明確にしつ	
アの諸文明と交の概略を、政治・経済・文化の特徴を明確にしつ	>
流の簡潔に学習する。	
10 東アジア(殷・周・秦・漢・隋・唐・宋・元) 10 中	間考査
南アジア(古典王朝からイスラムの侵入まで)	
西アジア(オリエント文明からイスラム世界の成立まで)	
ヨーロッパ(地中海文明からローマ帝国の盛衰ま	
(で) 10 期 10 期 10 期 10	末考査
7 ヨーロッパ(ゲルマン民族の大移動から十字軍まで) 8	
9 第2章一体化に 近代社会成立の概略を、欧州史を軸に学習する。	
向かう世界と日	
本 ヨーロッパ(ルネサンス・宗教改革・大航海時代) 10	
10 西アジア・北アフリカ(イスラム世界の発展・成熟)	
東アジア(明・清) 10 中	間考査
11 第3章ヨ-ロッパ・アメ ヨーロッパ(絶対王政の成立)	
リカの諸革命と世 近代市民社会の成立(市民革命・産業革命・ナショナリ	
界の変動 ズム) 10	
1 2 欧米諸国の海外進出(帝国主義・アジアの変動) 1 0 期	末考査
1 第4章現代世界 国際社会成立の背景・過程を学習する。	_
のあゆみ	
第一次世界大戦とヴェルサイユ体制	
2 アジアの民族運動の高まり 10	
世界恐慌とファシズムの台頭	
	年末考査
3 第5章第二次大戦後から現在に至る国際社会の変化を学習する。	
戦後の世界国際連合の成立と東西冷戦	
冷戦の終結と多極化する世界	
現代社会の諸問題 8	

観点	規準	評価方法
関心・意	世界の歴史に関心を持ち、意欲的に追究しようとしている	授業へ取り組む姿勢。
欲·態度	か。	ノートやプリント等の課
思考・判	知識を基に時代の流れを理解し、人類の課題を多角的に考	題の提出状況。
断・ 表現	察する思考力を身に付けようとしているか。	定期考查(1学期2回、2
技 能	資料を収集し、情報を選択して、歴史的な事柄を追究する	学期2回、学年末1回)
	方法を身に付け、その過程や結果を表現できるか	授業中の発問に対する応
知識・	近現代史について、我が国と関連付けながら理解し、その	答。
理解	知識を身に付けているか。	総合的に評価する。

教科(科目)	地理歴史(地理A)	単位数	2 単位	学年(学科・コース)		1年生	
使用教科書		高校生の地理A(帝国書院)					
副教材	;	標準高等地図(帝国書院)					

1 科目目標

地理に関する基礎知識を習得するとともに、地理的な見方や考え方を培い、現代世界の諸課題を考察し、社会を主体的に 生きる自覚と資質を養う。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	身近な地図に親しむ	○世界地図と日本地図を使い、世界の主な国名・日本の都道府県名・県庁	4	
4·5	旅からとらえる現代世界	所在地名・新潟県の市町村名を理解する。 ○方位・緯度・経度・時差を理解する。 ○図法によって、面積・距離・形の表現が異なることを理解する。	8	○中間・期末考査○小テスト○課題への取り組み
6 • 7	世界の自然環境と文化	○日本の位置と領域、国家間の結びつきを理解する。○地形や気候に関する基本的事項を理解する。○宗教・言語と人々の生活の関係について理解する。	10	
8 9 10 11 12	世界の諸地域世界の生活・文化	○世界の諸地域の生活や文化の特色を、その地域の地理的環境や民族性 関連づけて理解する。○世界諸地域の生活や文化の多様性を理解するとともに、異文化を尊重 することの大切さを考える。	30	○中間・期末考査 ○小テスト ○課題~の取り組み
1 2 3	地球規模で広がる課題 日本の自然環境と防災	○人口、食料、資源・エネルギー、環境問題を地球的課題であることと地域や国によって現れ方やとらえ方が異なることを理解する。○持続可能な社会の実現のために必要なことを考える。○日本の地理的環境を災害の関連について理解し、地域の防災について考える。	18	○年末考査 ○小テスト ○課題〜の取り組み

項目	内 容	評価方法
関心	○地理的事象に対して、関心をもち意欲的に探求しようとしているか。	○年5回の定期考査
意 欲	○地図帳などの副教材を積極的に活用しているか。	○小テスト
態 度		○プリントなど課題への取り組み
思考	○世界の諸課題について自ら考え、解決の糸口を探ろうとする姿勢が見られるか。	○「思考・判断・表現」を問う授業形態
判断	○地図や資料を読み取り、自分の考え適切にまとめて表現できるか。	への取り組み
表現		
次似江田の井台	○時差の計算ができる。	
資料活用の技能	○地図の読図や作図の能力が身についている。	
知識	○国名・地形・気候などの地理に関する基本的事柄を理解し、その知識を有しているか。	
理 解		

教科(科目)	公民 (現代社会)	単位数	3 単位	学年(学科・コース)	3年生	
使用教科書	『最新 現代	弋社会』	(実教出版)		授業形態	必修
副教材	新版 テーマ	マ別資料	クローズ	アップ現代社会2016(第一学習社)	

1科目目標

現代社会の諸問題について、政治・経済・社会などのさまざまな観点から理解を深め、時事的な事柄と関連させながら、現代社会に対する興味・関心を高める。

2 学習計画

2 于	智計 画			
月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	『現代社会』を学	『現代社会』の授業の進め方、学習内容、評価方		・中間考査
	ぶにあたって	法などについて理解する。		・期末考査
				・課題提出
5	1 現代の社会生	・現代の青年が成長し社会に参加するにあたって	10	• 言語活動
	活と青年	の心理的社会的課題について理解する。		•参加型学習
6	2 現代の経済	・資本主義経済における企業に役割や市場の機能	12	
	社会と国民生活	などについて理解する。		
	第1章 現代の経	・市場機構・景気変動・金融・財政について学習	12	
	済社会	する。		
7	第2章 日本経済	・戦後から現在までの日本経済の流れを学び、そ	8	
	の特質と国民生活	の抱える問題点について学習する。		
		・日本経済の抱える問題点について学習する。		
		・欠点者補習		
9	3 現代の民主政	・民主政治の基本原理と、世界のおもな政治制度	12	・中間考査
	治と日本国憲法	について学ぶ。		・期末考査
		・日本国憲法の成立と日本国憲法が規定する基本的		・課題提出
10	第1章 現代国家	人権を理解し、人権が直面する問題について学習す	12	・言語活動
	と民主政治	る。		•参加型学習
11	第2章 日本国憲	・平和主義の内容と意義を学習する。自衛隊・安全保	14	
	法の基本原理	障・国際貢献について学習する。		
12	第3章 日本の	・国会・内閣・裁判所について組織・機能・国民	12	
1	政治機構と政治	生活との関わりを学習する。		
	参加	・欠点者補習		
1	4 国際社会と人	・現在の国際社会の動向について学習し、人類が	7	・学年末考査
	類の課題	世界規模で抱える課題について理解する。		・課題提出
				・言語活動
2	第3部 共に生き	・持続可能な社会の形成という観点から課題を設	6	•参加型学習
	る社会をめざして	定し、課題解決の方策や自分の今後の生き方を		
		考察する。		

観	点	規準	評価方法
関 意 態	心欲度	現代社会の諸事情に関心を持ち、健全な批判的意見をもつことができたか。	・授業態度・発問への応答・課題提出
思 判 表	考断現	学習した事項をもとに、現代社会の諸事情を分析し理解し、その内容を適切に他者に伝えることができたか。	・定期考査 ・言語活動 ・参加型学習
技	能	統計などの資料から、現代社会における諸問題を分析し、新聞等の メディアから必要な情報を読み取ることができたか。	
知 理	識 解	現代社会に関する基本的な知識を理解し、現実の問題にあてはめて 応用することができたか。	

教科(科目)	数学 I	単位数	3 単位	学年(学科・コース)	1年生	
使用教科書	高校数学I(実教出版)		授業形態	必修
副教材	スタディノー	- -				

1科目目標

数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察する能力を培い、数学よさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	第1章 数と式	・整式の基本法則を理解する。	15h	授業中の小テスト
4	第1節 数と式	・加法・減法・乗法を学習する		
5		・整式の展開や因数分解を計算できるようにする。		中間考査
υ	第2節 実数	・平方根を含む式の計算について学習する。		
6	第3節			
	方程式と不等式	・方程式・不等式の性質を理解し、1次方程式・1次不等	20h	授業中の小テスト
7		式を解く。		
'		関数とグラフの関係やグラフの意味を学習し、2次関数の		期末考査
		用語や特徴を理解する。		
	フ			
9	第2章 2次関数	・2次関数のグラフの書き方を学ぶ。	20h	授業中の小テスト
		・関数のグラフとx軸との関係を考えることにより、方程		
10	値変化	式や不等式の意味を理解する。		中間考査
	然 o 並 → 力 II.	一九儿。女性头丝顶上又	0.51	
11	第3章 三角比	・三角比の意味を学習する。	25h	極楽中のまます!
	第1節 三角比 第2節 三角比の応	・三角比の性質、三角比の相互関係について理解する。 ・正弦定理や余弦定理を利用して図形の計量の処理に活用		授業中の小テスト
12	男 2 即 二 月 L の 心 一 用	する。		期末考査
	第4章 集合		25h	別小勺且
1	第1節 集合	・必要条件、十分条件などの用語の意味を理解し、それが		授業中の小テスト
	第2節 命題と論証	使えるようにする。		及来「の有方が「
2	717 - 217 PIV /CE C HIII HEE	・対偶を利用した証明法、背理法などの間接証明法を学ぶ		
	第5章データの分析			学年末考査
3	第1節データの整理	・統計グラフ・度数分布表を復習する。		
	第2節データの分析	・平均値・中央値・最頻値について復習し、確認する		課題等提出物
	課題学習			

観点	規準	評価方法
関心・意欲	意欲的に課題に取り組むとともに、それらを事象の考察に積極的	中間考査・期末考査の成績
・態度	に活用しようとする態度を持っているか。	
数学的な	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的	授業中の小テスト
見方や考	・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方	
え方	を身に付けているか。	提出物(授業ノート・プリン
数学的な	的確に問題を解決する技能を身に付けているか。	ト・課題等)の内容
技能		
知 識	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、	授業態度
理解	知識を身に付けているか。	

教科(科目)	数学Ⅱ	単位数	4	単位	学年(学科・コース)	2年生	
使用教科書	高校数学Ⅱ (実教出版)			授業形態	選択
副教材	スタディノー	١					

1科目目標

いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについて理解させ、基礎的な知識の修得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を養うとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	第1章 複素数と方	・多項式の割り算、分数式の計算ができるようにする。		
	程式	・2次方程式の解と関連して複素数を導入し、その計算を通じて		授業中の小テスト
5	第1節 式の計算	数として複素数を理解し、これを基礎に二次方程式の解法を		
	第2節 複素数と	完成する。	20h	中間考査
6	2次方程式	・二次方程式の解について、その解の判別、解と係数の関係を		
		理解する		授業中の小テスト
7		・余りの定理、因数定理		
	第3節 高次方程式	・因数分解の公式や、因数定理を利用して高次方程式を解く。		
			20h	期末考査
	第4節 式と証明	・等式、不等式の証明を通じ、式の解を発展的にとらえる。論証		
		についての理解を深める。	10h	
8	第2章 図形と方程	・座標を用いることによって、図形の問題が代数的に解決される		
	式	ことを理解する。		授業中の小テスト
9	第1節 点と座標	・直線上・平面上の点の座標と内分点・外分点の座標を学ぶ		
1.0	第2節 直線の方程	・直線が、x,yの一次方程式で表され、2直線の位置関係をそ		
10	式	れらの方程式の係数間の関係であることを学ぶ。		
	第3節 円の方程式	・円が x, y の2次方程式であらわされることを学ぶ。		
11	第4節 不等式の表	・x, y に関考する不等式が座標平面上の広がりをもった部分(0.51	HH +v -+-
	す領域 第3章 いろいろな	領域)を表すことを学ぶ。	25h	中間考査
12	関数	 ・三角関数・指数関数・対数関数について学ぶ。		授業中の小テスト
12	第1節 三角関数	・三角関数を理解し、性質について学ぶ。		1文 来 中 の 小 ノ ハ ト
	第2節 加法定理/	・加法定理を学ぶ。弧度法を知る。		
	弧度法	加仏人生とする。加及仏とかる。		
	第3節 指数関数	 ・指数関数の性質を調べ、その特徴を理解する		
	第4節 対数関数	・対数を定義し指数法則との対応や諸性質の理解を深める。	25h	期末考査
	まとめプリント	2学期の復習	5h	
1	第4章 微分・積分法	・微分係数、及び関数の定義を学ぶ。		
	第1節 微分係数と	・微分係数がグラフ上の点における接線の傾きであることを理解		授業中の小テスト
2	導関数	する		
	第2節 導関数の応	・接線の傾きからグラフの増減を知ることができることを理解する		
3	用	・微分法の逆演算として不定積分が得られることを学び、その		
		計算方法を理解する。		
	第3節 積分の考え	・定積分の定義を形式的に覚え、演算方法を習得する。		
		・定積分の基本的な性質を理解し、それに基づく計算法に慣れ	30h	期末考査
		る。	5h	演習プリント
		・定積分と面積の関係を学び、平面図形の面積を求めることが		まとめプリント
		できるようにする。		確認テスト

観点	規準	評価方法
関心・意欲	式の計算に関する問題に興味を持ち、積極的に解こうとする態	1学期中間考査・期末考査の
•態度	度を持っているか。	成績
数学的な 見方や考		授業中の小テスト
え方 数学的な	推論の方法を身につけ、的確に解決できているか。 事象を数学的に考察して計算方法を導き、処理できているか。	提出物(授業ノート・プリン
技 能		ト等)の内容
知 ・理 解	基本的な概念原理、法則、用語、記号等を理解し、基本的な知識を身につけているか。	授業態度

教科(科目)	数学A	単位数	3	単位	学年(学科・コース)	2年生	
使用教科書	高校数学A(実教出版	()			授業形態	選択
副教材	スタディノー	<u>۲</u>					

1科目目標

場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画

2 丁 🗀	T	光型光型 (形)茶工品)	n+ 88	<u> </u>
月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	第1章 順列と組		35h	授業中の小テスト
14	合せ	・集合とその要素の個数を指導する。		
5	1節 集合	・共通部分や和集合、全体集合や補集合、部分集合を		中間考査
Б		指導する		
	2節 順列	・いろいろな場合の数をかぞえるとき、もれなく、重		授業中の小テスト
6		複することなく、効率的にかぞえる方法をくふうす		
		る。		期末考査
7	3節 組合せ	・組合せの意味を理解させ計算ができるようにする。		
	第2章 確率	・同様に確からしいことに基づく確率の意味を定め、	45h	授業中の小テスト
9	1節 確率と	その基本性質を理解する。		
1.0	その基本性質	・排反事象について理解し余事象の確率を求める。		
10		・試行の独立、反復試行を理解する。		中間考査
1.1		・期待値の概念を理解し具体的な例について求める。		
11	第4章 平面図形	・三角形の辺と角の関係や平行線と線分の比の関係を		授業中の小テスト
1.0	2節 三角形の性	理解する。		
12	質	・三角形の外心、内心、重心の定義と性質を理解する。		期末考査
	3節 円の性質	・円周角の定理や接線と弦に関する諸定理を学ぶ。	25h	授業中の小テスト
1		・2つの円の位置関係と、2つの円の中心間の距離と		
		半径の関係を調べる		
2				
	4節 空間図形	・平面の決定条件や、空間における直線や平面の位置		学年末考査
3		関係を理解する。		
		・多面体や正多面体を理解する。		

観点	規 準	評価方法
関心・意欲	場合の数と確率、論理と集合、平面図形に関心をもっているか	中間考査・期末考査の成績
・態度	。身近な事象に活用しようとする態度を持っているか。	
数学的な	数学的な見方や考え方を見いだそうとしているか。思考の過程	授業中の小テスト
見方や考	を振り返り多面的に発展的に考えているか 事象を数学的に考	
え方	察して計算方法やグラフを表現し処理できているか。	提出物(授業ノート・プリン
数学的な	推論の方法を身につけ、的確に解決できているか	ト等)の内容
技 能		
知 識	基本的な概念原理、法則、用語、記号等を理解し、基本的な知	授業態度
理解	識を身につけているか 。	

教科(科目)	数学A	単位数	3	単位	学年(学科·	コース)	3年生	
使用教科書	高校数学A(実教出版	()				授業形態	選修
副教材	スタディノー	<u>۲</u>						

1科目目標

場合の数と確率、整数の性質又は図形の性質について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	第1章 順列と組		35h	授業中の小テスト
4	合せ	・集合とその要素の個数を指導する。		
5	1節 集合	・共通部分や和集合、全体集合や補集合、部分集合を		中間考査
Э		指導する		
6	2節 順列	・いろいろな場合の数をかぞえるとき、もれなく、重		授業中の小テスト
0		複することなく、効率的にかぞえる方法をくふうす		
7		る。		期末考査
<u>'</u>	3節 組合せ	・組合せの意味を理解させ計算ができるようにする。		
9	第2章 確率	・同様に確からしいことに基づく確率の意味を定め、	45h	授業中の小テスト
	1節 確率と	その基本性質を理解する。		
10	その基本性質	・排反事象について理解し余事象の確率を求める。		I BB da I.
		・試行の独立、反復試行を理解する。		中間考査
11	然 4 亲 豆 云 园 形	・期待値の概念を理解し具体的な例について求める。		極楽士の「一つ」
	第4章 平面図形	・三角形の辺と角の関係や平行線と線分の比の関係を		授業中の小テスト
12	2節 三角形の性 質	理解する。 ・三角形の外心、内心、重心の定義と性質を理解する。		期末考査
	月	・二月ルの外心、円心、里心の足我と任員を垤胖する。		州 木 与 宜
	3節 円の性質	・円周角の定理や接線と弦に関する諸定理を学ぶ。	25h	授業中の小テスト
1		・2つの円の位置関係と、2つの円の中心間の距離と	2011	
		半径の関係を調べる		
2				
	4節 空間図形	・平面の決定条件や、空間における直線や平面の位置		学年末考査
3		関係を理解する。		
		・多面体や正多面体を理解する。		

観点	規準	評価方法
関心・意欲	場合の数と確率、論理と集合、平面図形に関心をもっているか	中間考査・期末考査の成績
•態度	。身近な事象に活用しようとする態度を持っているか。	
数学的な	数学的な見方や考え方を見いだそうとしているか。思考の過程	授業中の小テスト
見方や考	を振り返り多面的に発展的に考えているか 事象を数学的に考	
え方	察して計算方法やグラフを表現し処理できているか。	提出物(授業ノート・プリン
数学的な	推論の方法を身につけ、的確に解決できているか	ト等)の内容
技 能		
知 識	基本的な概念原理、法則、用語、記号等を理解し、基本的な知	授業態度
理解	識を身につけているか 。	

教科(科目)	理科(科学と人間生活) 単位数 2 単位 学年(学科・コース)	1年生・農業科
使用教科書	高等学校 科学と人間生活 (第一学習社)	授業形態 必修
副教材	ネオパルノート科学と人間生活 (第一学習社)	

1 科目目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について理解させ, 科学的な見方や考え方を養うとともに, 科学に対する興味・関心を高める。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	人間生活の中の科学	繊維の種類,基本的な性質,糸の製造工程,繊維の構造,染色	7	
	・衣料	加工,植物繊維と動物繊維と合成繊維の化学構造,性質,用途に		
5		ついて理解する	8	
	• 食品	食物中の栄養素と生体内での役割や、栄養素が取り込まれる過		中間考査
6		程、炭水化物の分類と化学構造や性質と働き、タンパク質の化学	8	
		構造や性質と働き、脂質の化学構造や働き、無機塩類やビタミン		
		の性質について理解する		
7	熱の科学	セルシウス温度や絶対温度,熱運動,熱平衡,熱容量と比熱に	4	期末考査
	· 熱	ついて理解する		ノート提出
9	・エネルギー	熱伝導のしくみ,水の状態変化と潜熱の概念,仕事とエネルギ	8	
		ーとの関係,ジュール熱と電力の関係,さまざまなエネルギーの		
		形態やエネルギー保存の法則、可逆変化と不可逆変化、省エネル		
1 0		ギーの試み、代替エネルギーの開発について知識を習得する。	7	
	生命の科学	植物の光合成や動物の繁殖行動に対する光の影響, 植物の発芽		中間考査
	・生物と光	や成長運動,花芽形成や開花に対する光の影響について理解す		
1 1		る。ヒトの眼の構造を学習し、視細胞の種類や働き、明順応や暗	8	
		順応の現象と視細胞とのかかわり、視覚の成立や錯覚について理		
		解する。		
1 2		光に対する動物の行動や, ヒトの体内時計のしくみとその補正	5	期末考査
		および、概日リズムについて科学的に理解する。		ノート提出
1	地球と宇宙の科学	日本列島の特徴とその成因,日本列島付近のプレートの動き,	6	
	・身近な自然景観と自	火山の噴火による噴出物,火山の噴火が起こる原因,火山の形と		
2	然災害	マグマの関連性,日本の火山活動,地震の発生のしくみ,日本列	6	
		島の地震活動とプレートとの関連性、河川や海水の働きにより形		
3		成された地形,火山の災害と防災,地震災害と防災,気象災害と	3	学年末考査
		防災について科学的に理解する。		ノート提出

観	点	規準	評価方法
関心·	意欲•	身近な事物・現象に関心や探究心をもち、科学的な視点・考察力を養うととも	・学習活動への参加の仕方や態度
態度		に、科学技術に対する関心を高める態度を身につけている。	・配布物の活用状況
□ +r.	yert bler	身近な事物・現象の中に問題を見出し、これからの科学と人間生活とのかかわ	・提出物の内容及び提出状況
	判断•	り方について科学的・論知的に思考し、判断する。	• 定期考査
表現		観察の過程や結果から導いた自らの考えを的確に表現する。	
++- ΔΙ-		身近な事物・現象に関する観察の技能を習得するとともに科学的に探究する方	
技能		法を身に付ける。	上記を総合して100点満点で評価
k-n =th	TO 477	現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身につけ,これからの科	する
知識・	' 埋解	学技術と人間生活のあり方について理解する。	

教科(科目)	理科(生物基礎)	単位数 3	単位	学年(学科・コース)	2年生・生	全学科
使用教科書	新編 生物基	礎 (東京	(書籍)		授業形態	必修
副教材	ニューサポート	新編生物	基礎(東京書籍)		

1科目目標

さまざまな事例を通じ、生物に対する関心を持つようになる。 観察や実験を通して、基本的な内容を理解し、科学的思考を身につける。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	1編 生物の特徴	・顕微鏡の使用方法	5	
	1章 生物の多様性と共通性	・生物の特徴の1つに挙げられる、多様性と共通性について学ぶ。	5	
5		・多くの生物の細胞には核が含まれているが、核がない生物もいることを知る。		中間考査
6	2章 生命活動とエネルギー	・エネルギーと代謝の関係性とATPについて学ぶ。	1 5	11113 7 22
0		・酵素の基質特異性や最適温度・最適pHについて学ぶ。	1.0	
	2編 遺伝子とそのはたらき	・遺伝子の本体としてのDNAについて学ぶ。		
7	1章 生物と遺伝子	・歴史的な研究成果を追いながら、だれのどのような研究により、遺伝子の本	7	期末考査
	2章 遺伝情報の分配	体やDNAの構造が解明されたか,それぞれの経緯を理解する。	5	ノート提出
	3章 遺伝情報とタンパク質	・体細胞分裂に伴うDNAの複製と分配について学ぶ。	1 0	
	の合成	・遺伝情報がタンパク質の合成という形で現れる過程を理解する。		
9	3編 生物の体内環境の維持	・体液の循環や調節に関わる心臓・腎臓・肝臓などのはたらきを学ぶ。	9	
	1章 体内環境	・腎臓におけるろ過と再吸収のしくみにより、老廃物は濃縮して尿とし、必要		
		な物質は血液中に残すはたらきを理解する。	8	中間考査
10	2章 体内環境の調節	・自律神経とホルモンによる体内環境の調節のしくみを学ぶ。		
10		・ホルモンを分泌する内分泌腺と汗や消化液などを分泌する外分泌腺との構造		
		上の違いについて学ぶ。		
11	3章 免疫	・異物の体内への侵入を防いだり、侵入した異物を排除するしくみを学ぶ。		期末考査
		・血液を材料として、塩類濃度の変化が血液に与える影響を調べ、さらに血液	1 7	ノート提出
12		凝固や血流の観察を行うことで、体内環境を保つ上で血液が重要な役割を果		
		たしていることを理解する。		
1	4編 生物の多様性と生態系	・生態系の成り立ちと植生の果たす役割を理解し、植生の遷移が生じるメカニ	6	
	1章 植生の多様性と分布	ズムを学ぶ。		
		・湖沼から始まる湿性遷移の場合、どのような経緯で湖沼が陸地化し、乾性遷		
		移に移行するのか、具体例をもとにして理解する。		
2	2章 気候とバイオーム	・気候条件の違いにもとづいて、さまざまなバイオームが成立する過程を知り、	6	
		世界や日本におけるバイオームの分布について学ぶ。		学年末考査
3	3章 生態系とその保全	・生態系におけるエネルギーの流れと物質の循環のしくみについて理解し、生	1 2	ノート提出
		態系の保全について学ぶ。		
		・人為的に移入された生物が生態系にどのような影響を与えるかを、文献や資		
		料を用いて 具体的に考察する。		

観点	規 準	評価方法
関心・意欲・態度	・自然や生物に関心を持ち、意欲的、積極的に授業に参加し取り組んでいるか ・観察・実験に自ら考え主体性を持って取り組んでいるか ・教師の発問に対して積極的に答えようとする意欲が見られるか	・学習活動への参加の仕方や態度・配布物の活用状況・提出物の内容及び提出状況
思考・判断・表現	・観察実験の方法結果に対し判断や考察を行っているか ・教師からの発問に対して、自らの考えで答えているか ・自然界の事象に関して、様々な観点から考察し、論理的に考えることができるか ・自然界の生物現象について科学的に探求する方法を身につけたか	・定期考査 ・観察、実験の授業中における実験 器具操作や方法
技能	・観察、実験の方法や実験器具の操作を、理解して正しく行えるか	上記を総合して100点満点で
知識・理解	・自然の事物現象における原理法則などの基本的な知識や考え方を理解しているか・観察、実験の目的や実験の原理などを理解しているか	評価する

教科(科目)	理科 (化学基礎)	単位数	3	単位	学年(学科・コース)	3年生・	全学科
使用教科書	新編化学基礎	(東京	書籍))		授業形態	必修
副教材	なし						

1科目目標

さまざまな事例を通じ、化学に対する関心を持つようになる。 観察や実験を通して、基本的な内容を理解し、科学的思考を身につける。

2 学習計画

2 7 1	当 司 四			
月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	物質の探究	・物質が原子、分子、イオンなどから構成されることや、成分とし	1 2	
		ての元素の概念を学ぶ。また、単体、化合物、混合物などの物質		
		の分類と混合物の分離を学ぶ。		
5		・物質の三態や熱運動について学ぶ。		
	物質の構成粒子	・電子配置を中心に原子の構造を学ぶ。	1 6	中間考査
6		・周期表に関して、周期律や元素の配列、族による元素の典型的な		ノート提出
		性質などを学ぶ		
	物質と化学結合	・イオンとイオン結合、イオン結晶について学ぶ	1 8	
7		・金属と金属結合、金属の利用について学ぶ。		期末考査
		・分子と共有結合について、電子式と構造式などを学ぶ。また		ノート提出
		水素結合についても学ぶ。		
9	物質量と化学変化	・原子量、分子量、式量、アボガドロ定数、物質量の概念を正しく	2 3	
		理解する。また、化学変化が反応式で表されること、および各物		
10		質の物質量の変化が反応式により表されることを理解する。		中間考査
		・モル濃度、パーセント濃度の計算ができるようになる。		ノート提出
11	酸と塩基	・酸および塩基の定義、性質およびその種類を学ぶ。		
		・酸と塩基の中和反応における化学量論的な取り扱いを理解する。	2 3	期末考査
12		・ p H や滴定曲線を理解し、中和滴定の操作を修得する。		ノート提出
	30°	14.1. 九四十〇月至十二十五九十五九十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	1.6	× + + +
1	酸化還元	・酸化や還元の定義を、酸素や水素および電子の授受という観点か	1 3	
		ら理解する。電池のしくみや電気分解が酸化還元反応であること		ノート提出
		を学ぶ。また、物質量の変化と電気量の関係を理解する。		
			l	

観点	規準	評価方法
関心・意欲・ 態度	・化学に関心を持ち、意欲的、積極的に授業に参加し取り組んでいるか ・観察・実験に自ら考え主体性を持って取り組んでいるか ・教師の発問に対して積極的に答えようとする意欲が見られるか	・学習活動への参加の仕方や 態度・配布物の活用状況
思考·判断· 表現	・観察実験の方法結果を理解し、判断や考察を行っているか ・教師からの発問に対して、自らの考えで答えているか ・化学的な事象に関して、様々な観点から考察し、論理的に考えることがで きるか ・身のまわりの事象について化学的に探求する方法を身につけたか	・提出物の内容及び提出状況・定期考査・観察、実験の授業中における実験器具操作や方法
技能	・観察、実験の方法や実験器具の操作を、理解して正しく行えるか	
知識・理解	・自然の事物現象における原理法則などの基本的な知識や考え方を理解しているか ・観察、実験の目的や実験の原理などを理解しているか	上記を総合して100点満点で評価する

教科(科目)	体育	単位数	3	単位	学年(学科・コース)	1年男子
使用教科書	なし					授業形態 必修
副教材	なし					

1科目目標

学習指導要領に記載されている「体育の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。

- 1 集団行動について理解させるとともに、必要な技能を身につけさせる。
- 2 公正・協力・責任などの態度を身につけさせる。
- 3 基礎体力の向上に努める。
- 4 基本的な運動技能の習得をはかる。

2学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時	評価方法
			間	
4	「体育」学習について	1年次の「体育」学習の意義や内容、評価の方法等、これ	1	具体の学習場面におけ
		からの授業展開に必要な事柄について理解させる。		る学びの姿勢
5	集団行動	集団が合理的に行動するための行動様式を身につけさせる	3	関心・意欲・態度
		0		公正・協力
	体つくり運動	各自の体力の状況に応じて、体ほぐしの運動を行うとともに	7	責任
		体力を高める運動を行う。		
6	「走運動」を中心とした基	持久走やサーキットトレーニングを継続的に行わせ、全身持	12	
	礎体力の向上	久力の向上を図る。		スポーツテスト記録
	スポーツテスト	スポーツテストの各種目について理解させるとともに、正しい		
		動作でテストを実施する。		陸上記録
7	陸上競技	基本的な運動動作である「走」「投」についての合理的な技	17	具体的評価基準を設定
	走運動・投運動のうちい	能を身につけさせるとともに、記録の向上の達成感を経験させ		
	ずれか1種目	る。		
	体育理論	運動、スポーツの文化的特徴を学ばせる。	3	ペーパーテスト
9	サッカー	サッカーの基本的な技能(各種キック・トラッピング・ドリブル・		
		ヘディング等)の技能を習得させる。	18	学びの姿勢から評価
				具体的評価基準を設定
11	バレーボール	バレーボールの基本的な技能(パス、サーブ、レシーブ、スパ	18	
		イク等)の技能を習得させる。		
	体育理論	運動、スポーツの文化的特徴を学ばせる。	3	
12	柔道	柔道の伝統的な行動様式を理解させ、特に礼儀作法を尊重	24	
		するとともに、基本的な動作である「受け身」や基本的な対人		
		的技能を習得させる。		

- 11 14//2 1 0	ET HER SA DE .	
項目	内 容	評価方法
関 心	運動の楽しさや、喜びを深く味わうことができるように自ら意欲的、積極的に運動しよ	・授業中の参加への意欲や行動の
意 欲	うとしている。・公正、協力、責任などの態度が身に付いている。・健康、安全に留意	観察
態度	して運動しようとしている。	・競技のルール・技術に関する
思 考	・自己や集団の能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしているか。	知識 (小テスト)
判断	・課題の解決を目指して、活動の仕方を工夫しているか。	・スポーツテストの結果分析
運動の	・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、その技能を	・スキルテストの実施
技 能	高めているか。・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行	・授業準備、後片付け
	い方を身につけているか。	・具体的評価基準を設定
知識	・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力	
理解	の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけているか。	

教科(科目)	体育	単位数	3	単位	学年(学科・コース)	1年女子	
使用教科書	なし					授業形態	必修
副教材	なし						

1科目目標

学習指導要領に記載されている「体育の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導 を目標とする。

- 1 集団行動について理解させるとともに、必要な技能を身につけさせる。
- 2 公正・協力・責任などの態度を身につけさせる。 3 基礎体力の向上に努める。
- 基本的な運動技能の習得をはかる。

2学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	「体育」学習について	1年次の「体育」学習の意義や内容、評価の方法等、これ	1	具体の学習場面におけ
		からの授業展開に必要な事柄について理解させる。		る学びの姿勢
5	集団行動	集団が合理的に行動するための行動様式を身につけさせる	3	関心・意欲・態度
		o		公正・協力
	体つくり運動	各自の体力の状況に応じて、体ほぐしの運動を行うとともに	7	責任
		体力を高める運動を行う。		
6	「走運動」を中心とし	持久走やサーキットトレーニングを継続的に行わせ、全身持	12	スポーツテスト記録
	た基礎体力の向上	久力の向上を図る。		
	スポーツテスト	スポーツテストの各種目について理解させるとともに、正しい		陸上記録
		動作でテストを実施する。		
7	陸上競技	基本的な運動動作である「走」「投」についての合理的な技能	17	具体的評価基準を設定
	走運動・投運動のうち	を身につけさせるとともに、記録の向上の達成感を経験させる。		
	いずれか1種目			
	体育理論	運動、スポーツの文化的特徴を学ばせる。	3	ペーパーテスト
9	テニス	フォアハンドストローク、バックハンドストローク、サービスなどの基礎	18	学びの姿勢から評価
		的技能を習得させる。		具体的評価基準を設定
		バスケットボールの基本的な技能(パス・キャッチ・ドリブル・シ	18	
10	バスケットボール	ュート等)の技能を習得させる。		
		バレーボールの基本的な技能(サービス・パス・レシーブ・トス・スパ	12	
12	バレーボール	イク等)の技能を習得させる。		
				ペーパーテスト
	体育理論	運動、スポーツの文化的特徴を学ばせる	3	
2	バドミントン	バドミントンの基本的な技能である各種のフライト・サービス・レシー	12	学びの姿勢から評価
		ブ等の技能を習得させる。		具体的評価基準を設定

項目	内 容	評価方法
関 心	運動の楽しさや、喜びを深く味わうことができるように自ら意欲的、積極的に運動しよ	・授業中の参加への意欲や行動の
意 欲・	うとしている。・公正、協力、責任などの態度が身に付いている。・健康、安全に留意	観察
態度	して運動しようとしている。	・スポーツテストの結果分析
思 考	・自己や集団の能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしているか。	・スキルテストの実施
判断	・課題の解決を目指して、活動の仕方を工夫しているか。	・授業準備、後片付け
運動の	・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、その技能を	・具体的評価基準を設定
技 能	高めているか。・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行	
	い方を身につけているか。	
知識	・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力	・競技のルール・技術に関する
理解	の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけているか。	知識 (小テスト)

教科(科目)	体育	単位数	2	単位	学年(学科・コース)	2年男	年男子		
使用教科書	なし						授業形態	必修	
副教材	なし								

1科目目標

学習指導要領に記載されている「体育の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。

- 1 集団行動について理解させるとともに、必要な技能を身につけさせる。
- 2 公正・協力・責任などの態度を身につけさせる。
- 3 基礎体力の向上に努める。
- 4 基本的な運動技能の習得をはかる。

2学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時	評価方法
			間	
4	「体育」学習につい	2年次の「体育」学習の意義や内容、評価の方法等、これからの授業展	1	具体の学習場面におけ
	て	開に必要な事柄について理解させる。		る学びの姿勢
	集団行動	集団が合理的に行動するための行動様式を身につけさせる。		関心・意欲・態度
5	体つくり運動	各自の体力の状況に応じて、体ほぐしの運動を行うとともに体力を高め	6	公正・協力
		る運動を行う。		責任
6	「走運動」を中心とし	持久走やサーキットトレーニングを継続的に行わせ、全身持久力の向上	8	
	た基礎体力の向上	を図る。		
	スポーツテスト	スポーツテストの各種目について理解させるとともに、正しい動作でテスト		スポーツテスト記録
		を実施する。		
7	陸上競技	基本的な運動動作である「走」「投」についての合理的な技能を身につ	10	陸上記録
	走運動・投運動のう	けさせるとともに、記録の向上の達成感を経験させる。		
	ちいずれか1種目			
	体育理論	運動、スポーツの学び方について理解させる。	3	ペーパーテスト
9	バスケットボール	集団的技能(速攻・セットオフェンス・マンツーマンディフェンス・ゾーンデ	21	具体的評価基準を設定
		ィフェンス等)の技能を習得する。		学びの姿勢から評価
11	体育理論	運動、スポーツの学び方について理解させる。	3	ペーパーテスト
12	柔道	投げ技・固め技・技の連絡変化について自己の能力に応じた技を選び	18	具体的評価基準を設定
		、相手の動きに適した攻防ができるようにし、試合に生かすことができるよう		学びの姿勢から評価
		にする。		

項目	内 容	評価方法
関 心	・運動の楽しさや、喜びを深く味わうことができるように自ら意欲的、積極的に運動し	・授業中の参加への意欲や行動の
意 欲	ようとしている。・公正、協力、責任などの態度が身に付いている。・健康、安全に留	観察
態度	意して運動しようとしている。	・競技のルール・技術に関する
思 考	・自己や集団の能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしているか。	知識(小テスト)
判断	・課題の解決を目指して、活動の仕方を工夫しているか。	・スポーツテストの結果分析
運動の	・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、その技能を	・スキルテストの実施
技 能	高めているか。・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行	・授業準備、後片付け
	い方を身につけているか。	・具体的評価基準を設定
知識	・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力	
理解	の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけているか。	

教科(科目)	体育	単位数	2	単位	学年(学科・コース)	2 年女	ζ子	
使用教科書							授業形態	必修
副教材								

1科目目標

学習指導要領に記載されている「体育の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。

- 1 集団行動について理解させるとともに、必要な技能を身につけさせる。
- 2 公正・協力・責任などの態度を身につけさせる。
- 3 基礎体力の向上に努める。
- 4 基本的な運動技能の習得をはかる。

2学習計画

月	学習項目	学習活動(指導內容)	時	評価方法
			間	
4	「体育」学習について	2年次の「体育」学習の意義や内容、評価の方法等、これからの授業	1	具体の学習場面におけ
	集団行動	展開に必要な事柄について理解させる。		る学びの姿勢
		集団が合理的に行動するための行動様式を身につけさせる。		関心・意欲・態度
5	体つくり運動	各自の体力の状況に応じて、体ほぐしの運動を行うとともに体力を高め	6	公正・協力
		る運動を行う。		責任
6	「走運動」を中心とした基	持久走やサーキットトレーニングを継続的に行わせ、全身持久力の	8	
	礎体力の向上	向上を図る。		
	スポーツテスト	スポーツテストの各種目について理解させるとともに、正しい動作でテス		スポーツテスト記録
		トを実施する。		
7	陸上競技	基本的な運動動作である「跳躍運動」についての合理的な技能を身	10	陸上記録
	跳運動	につけさせるとともに、記録の向上の達成感を経験させる。		
	体育理論	運動、スポーツの学び方について理解させる。。	3	ペーパーテスト
9	バレーボール	ゲームのルールについての理解を深めるとともに、2段攻撃や3段攻	21	具体的評価基準を設定
		撃などの攻撃的な技能や、防御面での技能を習得させる。		学びの姿勢から評価
11	体育理論	運動、スポーツの学び方について理解させる。	3	ペーパーテスト
		ゲームのルールについての理解を深めるとともに、攻撃面では速攻・		
12	バスケットボール	セットオフェンス、防御面ではマンツーマンディフェンス・ゾーンディフェン	18	
		スの技能を習得させる。		

項目	内 容	評価方法
関 心	運動の楽しさや、喜びを深く味わうことができるように自ら意欲的、積極的に運動しよ	・授業中の参加への意欲や行動の
意 欲	うとしている。・公正、協力、責任などの態度が身に付いている。・健康、安全に留意	観察
態度	して運動しようとしている。	・競技のルール・技術に関する
思 考	・自己や集団の能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしているか。	知識(小テスト)
判断	・課題の解決を目指して、活動の仕方を工夫しているか。	・スポーツテストの結果分析
運動の	・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、その技能を	・スキルテストの実施
技 能	高めているか。・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行	・授業準備、後片付け
	い方を身につけているか。	・具体的評価基準を設定
知識	・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力	
理解	の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけているか。	

教科(科目)	体育	単位数	3	単位	学年(学科・コース)	3年		
使用教科書	なし						授業形態	必修
副教材	なし							

1科目目標

学習指導要領に記載されている「体育の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。

- 1 集団行動について理解させるとともに、必要な技能を身につけさせる。
- 2 公正・協力・責任などの態度を身につけさせる。
- 3 基礎体力の向上に努める。
- 4 基本的な運動技能の習得をはかる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時	評価方法
			間	
4	「体育」学習につい	3年次の「体育」学習の意義や内容、評価の方法等、	1	具体の学習場面におけ
	て	これからの授業展開に必要な事柄について理解させる。		る学びの姿勢
	集団行動	集団が合理的に行動するための行動様式を身につけ	2	関心・意欲・態度
		させる。		公正・協力
5	体つくり運動	各自の体力の状況に応じて、体ほぐしの運動を行うと	7	責任
		ともに体力を高める運動を行う。		
6	「走運動」を中心と	持久走やサーキットトレーニングを継続的に行わせ、	1 2	スポーツテスト記録
	した基礎体力の向上	全身持久力の向上を図る。		
	スポーツテスト	スポーツテストの各種目について理解させるととも	1 8	陸上記録
		に、正しい動作でテストを実施する。		
7	体育理論	豊かなスポーツライフの設計について考えさせる。	3	ペーパーテスト
9	選択体育Ⅰ期	4つの種目より各自で1種目を選択。チーム分けや練	2 7	学びの姿勢から評価
	バレー、バスケ、	習内容などに至るまで、自分たちで計画し、協力し、安		
	バド、トレーニ	全に留意しながら意欲的・自主的に活動できるようにす		
	ングより1種目	る。		
1 1	選択体育Ⅱ期	I 期と同様だが、各自が I 期と違う種目を必ず選択し、活動す	2 7	
		3.		
	体育理論	豊かなスポーツライフの設計について考えさせる。	3	ペーパーテスト

項目	内 容	評価方法
関心	・運動の楽しさや、喜びを深く味わうことができるように自ら意欲的、積極的に運動し	・授業中の参加への意欲や行動の
意 欲	ようとしている。・公正、協力、責任などの態度が身に付いている。・健康、安全に留	観察
態度	意して運動しようとしている。	・競技のルール・技術に関する
思 考	・自己や集団の能力と運動の特性に応じた課題を見つけだしているか。	知識(小テスト)
判断	・課題の解決を目指して、活動の仕方を工夫しているか。	・スポーツテストの結果分析
運動の	・自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行い、その技能を	・スキルテストの実施
技 能	高めているか。・自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行	・授業準備、後片付け
	い方を身につけているか。	・具体的評価基準を設定
知識	・社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力	
理解	の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけているか。	

教科(科目)	保健	単位数	1	単位	学年(学科・コース)	1年	
使用教科書	最新高等保健	体育		授業形態	必修		
副教材	最新高等保健	体育ノー	ート				

1科目目標

学習指導要領に記載されている「保健の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。

- 1. 個人の生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できる意欲を育てる。
- 2. 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について課題解決の役立つ基礎的な事項を理解するとともに知識を身につける。
- 3. 心身の健康や安全に関する課題解決を目指し、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断できる力を身につける。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	I現代社会と健康	我が国における健康水準の向上を平均寿命ののびや死亡率の低		・授業中の参加への意欲や行
	・私たちの健康のすがた	下から理解させる。我が国の健康問題の変化を、感染症の減少や生	2	動の観察
	・健康のとらえ方	活習慣病の増加の観点から理解させる。	1	・定期テストからの読みとり
5	・さまざまな保健活動や対策	健康についての様々な考え方を理解させる。	1	
	・生活習慣病と日常の生活行動	生活習慣と関連の深い病気について理解させる。	1	
6	・喫煙と健康	喫煙の健康影響を喫煙者、非喫煙者の立場から理解させる。	2	
	・飲酒と健康	アルコールの心身に対する影響を健康面から理解させる。	2	
7	・薬物乱用と健康	薬物乱用による健康被害と社会的問題について理解させる。	1	
	・医薬品と健康	医薬品の役割を、使い方の面から理解させる。	1	
	・感染症とその予防	今日注意すべき感染症を、感染症問題の変化や、感染症を取り巻	1	・授業中の参加への意欲や行
		く状況の変化の観点から理解させる。		動の観察
9	・エイズとその予防	エイズの課題や、流行の原因について理解させる。	3	・定期テストからの読みとり
10	・健康に関わる意志決定・行動選択	適切な意志決定と行動の選択を健康の立場から理解させる。	3	
11	・欲求と適応機制	心と大脳の働きからさまざまな四級について理解させる。	3	
	・心身の相関とストレス	心と体の関わり、体と心の関わりについて理解させる。	3	
12	・ストレスへの対処	原因への対処をとらえ方を変えることによる対処の仕方から理	3	
		解させる。		
1	・交通事故の現状と要因	交通事故の要因を実際の事故状況から理解させる。	3	・授業中の参加への意欲や行
2	・交通社会における運転者の資質と	交通事故の責任と保証について具体的な例から理解させる。	3	動の観察
	責任			・定期テストからの読みとり
3	・応急手当の意義とその方法	応急手当の意義について理解させる。応急手当の手順について、	2	
		その段階的な方法を具体的に理解させる。		

項	目	内 容	評価方法
関	广		授業態度・実習態度等
意	欲	・仲間と協力して資料を集めたり、意見交換をしているか。	プリント提出 ノート提出
態	度		定期考査等
思	考	・自分のこれまでの学習や体験、資料などをもとにしたり、他の人の意見や	グループ学習
判	断	考えを聞いたりして、課題解決の方法を考え判断しているか。	実技テスト (心肺蘇生)
知	識	・個人生活及び社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身	上記を総合して100点満点
理	解	につけているか。	で評価する

教科(科目)	保健	単位数	1	単位	学年(学科・コース)	2年			
使用教科書	最新高等保健	体育				授	受業形態	必修	
副教材	最新高等保健	体育ノー	ート						

1科目目標

学習指導要領に記載されている「保健の目標」を中心におき、本校生徒の特性に合わせて以下の内容に重点を置いた指導を目標とする。

- 1. 個人の生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できる意欲を育てる。
- 2. 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康について課題解決の役立つ基礎的な事項を理解するとともに知識を身につける。
- 3. 心身の健康や安全に関する課題解決を目指し、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断できる力を身につける。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	Ⅱ生涯を通じる健康			
	・思春期と健康	思春期の身体の変化と健康について理解させる。	3	・授業中の参加への意欲や行動の観察
5	・性意識と性行動の選択	性意識の男女差と性的欲求の差について理解させる。	2	定期テストからの読みとり
	・結婚生活と健康	心身の発達と健康な結婚生活について理解させる。	1	
6	・妊娠・出産と健康	受精・妊娠・出産を段階的に理解させる。	2	
	・家族計画と人工妊娠中絶	家族計画の意義や避妊法とその選択について理解させる。	2	
7	・加齢と健康	加齢にともなう心身の変化について理解させる。	1	
	・保健制度と医療サービスの活用	保健行政の役割と仕組みについて理解させる。	1	・授業中の参加への意欲や行動の観察
9	・医療制度と医療費	医療の供給と医療保険について理解させる。	2	・定期テストからの読みとり
	Ⅲ社会生活と健康			
10	・大気汚染と健康	大気汚染とその原因について理解させる。	2	
	・水質汚濁と健康	水質汚濁とその原因について理解させる。	2	
	・土壌汚染と健康	土壌汚染とその原因を理解させる。	2	・授業中の参加への意欲や行動の観察
11	・健康被害の防止と環境対策	環境汚染の防止と改善について、どのような対策がとられているか理解	2	・定期テストからの読みとり
	・環境衛生活動の仕組みと働き	させる。ゴミ処理の活動について、その現状について理解させる。	2	
12	・働くことと健康	働くことと健康の関わりを理解させる。	3	
	・労働災害・職業病と健康	労働災害とその防止について、具体的な例を挙げて理解させる。	4	
	・健康的な職業生活	職場における取り組みについて、心身両面から理解させる。日常生活で	4	
		留意すべき事柄について理解させる。		

項	Ш	内 容	評価方法
関	小	・健康の保持増進に必要な事柄に関心を持っているか。	授業態度・実習態度等
意	欲	・仲間と協力して資料を集めたり、意見交換をしているか。	プリント提出
態	度		ノート提出
思	考	・自分のこれまでの学習や体験、資料などをもとにしたり、他の人の意見や	グループ学習
判	断	考えを聞いたりして、課題解決の方法を考え判断しているか。	定期考查等
知	識	・個人生活及び社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身	上記を総合して100点満点
理	解	につけているか。	で評価する

教科(科目)	芸術(音楽) 単位数 2 単位 学年(学科・コース)	1 学年農業科
使用教科書	MOUSA1 (教育芸術社)	授業形態 必修
副教材	なし	

1 科目目標

音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を高める。また与えられた知識・技能を活かした主体的な音楽活動をすることによって、創造的な表現を目指す。 ・・・・・

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4,5	発声練習	・効率の良い発声を習得させる。	3	
	校歌を歌う	・農林高校の生徒としての自覚を促す。	3	校歌テスト
	クラシック音楽鑑賞	・西洋音楽の流れを読み取る。	3	
	音符に親しむ	・リコーダー学習前にプリントで読譜に親しむ。	3	提出
	歌唱			
	「翼をください」	・親しみのある曲で、歌うことの楽しさを味わわ	3	
	・「ふるさと」	せる。あくびの発声を使うことで無理なく声を	2	
6,7	•「少年時代」	出す喜びを感じさせる。	2	
	•「ありがとう」		2	
	リコーダー演奏			リコーダー演
	・「オーラリー」	・正しい発音でリコーダー奏法を習得させる。	3	奏テスト
	・「アメージング	・長めの音で演奏させ、息をたっぷり使わせた音	3	
	グレース」	を習得させる。		
0.10	man I in the second of the sec	ノカルマ吸出っないよい、1 明分ナル吸ぐルフ	0	
9,10	歌唱「カロミオベン」	・イタリア歌曲でベルカント唱法を体験させる。	3	
	「空も飛べるはず」	・ベルカントで体得した声を用いビート感のある	5	歌唱テスト
	管楽器の鑑賞	表現をさせる ・吹奏楽を中心とした管楽器の鑑賞で息の使い方	_	
	官朱帝の鑑貝	・	5	
11,12	リコーダー演奏・	・歌唱で習得したあくび発声をリコーダーに応用		
11,12	「エデンの東」	し、表現を深める。	2	
	·「ラバーズコ	・2 重奏でハーモニーの楽しみを感じさせる。	5	実技テスト
	ンチェルト」	2 玉犬 ()・ こー ジ末しのを必じことの。		
	ウクレレ演奏	・グループ演奏の楽しみを体験させる。	8	グループ発表
	- 「雨に濡れても」			
	113 (2 min 4 0 0 0 1			
1,2	弦楽器の鑑賞	・様々な弦楽器の演奏でアポヤンド奏法を学ぶ。	5	
	ウクレレ合奏			
	・「涙そうそう」	・沖縄の三線音楽を体験させる。	4	実技テスト
3	「イパネマの娘」	・和音の変化のおもしろさを感じ取らせる。	4	
	・クラッピング	・手拍子によるアンサンブルで他者との交流を図る	2	グループ発表

観点	規準	評価方法
関心・意欲	音楽を愛好し、興味関心を持ち意欲的・主体的に音楽活動	授業態度 、テスト,
• 態度	を行い、その喜びを味わう。それを実技活動に生かす。	出席を総合して、
思考·判断·	その時々の活動に適した思いや意図を持って、楽器で表現	100点満点で評価す
表現	できる。	る。
技能	自己のイメージを持ち、感性を働かせて創造的な表現を模	
	索し工夫することができる。	
知識 理解	さまざまな音楽活動を通して身に付いた知識を通して獲得	
	した技能を鑑賞の中に見いだすことができる。	

平成28年度シラバス

学番49 新潟県立加茂農林高等学校

教科(科目)	外国語(コミュニケーション英語 I) 単位数 3単位 学年(学科・コース)			1学年(農業科)		
使用教科書	COMET English Communication I (数研出版)				授業形態	必修
副教材	プレップイングリッシュ [改訂版] (旺文					

1 科目目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に 伝えたりする能力を養う。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	Introduction 1 \sim 3 L1 Why Do We Study English?	・既習事項を確認し、高校の学習への導入とする。 ・英和辞典の引き方を習得させる。 ・英語を学ぶ意味を考える。	18 時間	
5	L2 Bento プレップイングリッシュ 5~6、9~12、15~20	・be動詞、一般動詞 ・日本の弁当が世界で人気の理由を探る。 ・現在時制を使って身の回りのことについて書く。 ・動詞の現在時制、過去時制		中間考査
5	L3 Could You Give me	・ラジオへの相談メールを通して、様々な表現を学ぶ。	20	音読テスト
6	Some Advice? L4 My School, Your School プレップイングリッシュ	・助動詞・外国の学校について知る。・自分の学校について簡単に書くことができる。・不定詞	時間	期末考査 パプォーマンステスト
7	27~28, 49~51	T ALPS		
8 9	L5 Peace, the Polar Bear L6 Living as a Carpenter	・シロクマと飼育員の交流について知る。・動名詞・大工さんへのインタビューを通して、職業についての理解を深める。・受け身	22 時間	夏休み課題 夏課題テスト
10	プレップイングリッシュ 53~54、37~39	·文() 身		中間考査
10	L7 Flying Wheelchairs	・ボランティアグループにおける高校生の活動について学ぶ・現在完了	20 時間	
11	L8 Convenience Stores: the Keys to Their Success プレップイングリッシュ	・コンビニの成功事例についての高校生の研究発表を学ぶ。 ・現在分詞、過去分詞	713	ハ [°] フォーマンステスト
12	33~34, 45~46			期末考査
1	L9 Tricks on Your	・目の錯覚について考察する。	25	冬休み課題
2	Eyes	・比較表現	時間	冬課題テスト
3	L10 Ando Momofuku: the Father of Instant Noodles プレップイングリッシュ	・カップラーメン発明の過程と当事者の苦労を知る。 ・関係代名詞、関係副詞 ・比較級、最上級を使って身の回りのことについて書く。 ・My motto について短いスピーチ発表をする。		ハプォーマンステスト
	57~60, 41~42			学年末考査

観点	規準	評価方法
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーション を図ろうとしている。	左記の観点を踏まえ、 ①授業への取り組み
外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	(授業態度・発表の様子・学習活動 への参加状況など) ②提出物の状況
外国語理解の能力	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	③課題テスト・小テスト・音読テスト ④パフォーマンステスト
言語や文化についての 知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとと もに、その背景にある文化などを理解している。	⑤定期考査 上記①~⑤を総合して、100点満点で 評価する

教科(科目)	外国語(コミュニケーション英語Ⅱ)	単位数	3単位	学年(学科・コース)	2学年(農業科)
使用教科書	COMET English Communication II (数研出版)				授業形態	必修
副教材	プレップイングリッシュ[改訂版] (旺文社)、ビーコン英和辞典 第2版 (三省堂)					

1 科目目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に 伝えたりする能力を伸ばす。

2 学習計画

2 子自	111111111111111111111111111111111111111			
月	学習項目	学習活動 (指導内容)	時間	評価方法
4	L1 Many Language	・世界の多様な言語および文字について知る。	18	春課題テスト
	Many Letters	・動詞の目的語となる that 節の用法を学ぶ。	時間	課題提出
5	プレップExercise1,2,3	・文法の復習(名詞、代名詞、be 動詞、一般動詞など)		中間考査
5	L 2 Manga Overseas	・海外で人気の日本のマンガについて読み、自分の意見を発信する。	20	音読テスト
		・分詞構文の用法を学ぶ	時間	
6	L 3 Don't Be	・緊張する場面での対処法について読む。		
	Nervous!	・動詞seem の用法を学ぶ。		期末考査
7	プレップExercise4,5,6	・文法の復習(命令文、疑問文、否定文、過去形、進行形など)		夏休み課題
7-8	L4 The High School	・高校生の日記を読み、自分の日常について書く。	22	夏課題テスト
	Student Restaurant	・形式主語 It の用法を学ぶ。	時間	課題提出
9	L5 Why Is It That	・物の形の理由について読む。		パフォーマンステスト
	Shape?	・関係代名詞 what の用法を学ぶ。		(ファーストフード
10	L6 Kinjo Koji and	・サンゴの養殖に成功した金城浩二さんについて読み、感想を書く。		店での注文)
	the Coral Reef	・過去完了形の用法を学ぶ。		
	プレップExercise7,8,9	・文法の復習(助動詞、疑問詞、現在完了など)		中間考査
11	L7 Changing	・ことばが時代とともに変化していくことについて読む。	20	課題提出
	Language	・関係代名詞の継続用法を学ぶ。	時間	
12	L8 Do We Need	・日本独自のサービスについて読む。		
	That?	・無生物主語構文について学ぶ。		
	プレップExercise	・文法の復習(受動態、関係代名詞、分詞、接続詞など)		期末考査
	10,11,12			冬休み課題
1	L9 Sleep	・睡眠について読む。	25	冬課題テスト
		・使役動詞の用法を学ぶ。	時間	課題提出
2	L10 Win for Our	・南アフリカのラグビーとアパルト〜イトについて読む。		パフォーマンステスト
	Nation	・知覚動詞の用法を学ぶ。		(自分の意見を書い
3	L11 From Small	・町工場のすぐれた製品について読む。		て発表する)
	Factories to the World	・仮定法を学ぶ。		
	プレップ/Exercise	・文法の復習(不定詞、動名詞、比較級、最上級、原級など)		学年末考査
	13,14,15,16	・学校行事についてスピーチをする。		

3 評価規準と評価方法		
観点	規準	評価方法
コミュニケーションへの	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーション	①授業への取り組み
関心・意欲・態度	を図ろうとしている。	(授業態度・発表の様子・学習活
外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	動への参加状況など) ②提出物の状況 ③課題テスト・小テスト
外国語理解の能力	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	④パフォーマンステスト ⑤音読テスト
言語や文化についての	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとと	⑥定期考査 上記①~⑥を総合して、100点満
知識•理解	もに、その背景にある文化などを理解している。	点で評価する

学番 49 新潟県立加茂農林高等学校

平成28年度シラバス

教科(科目)	外国語(コミュニケーション英語Ⅱ)	単位数	4単位	学年(学科・コース)	2学	年(農業科)
使用教科書	WORLD TREK English Communication II (桐原書店)				授業形態	選択
副教材	英文法ワークショップ (桐原書店)ビーコン英和辞典 第2版(三省堂)					

1 科目目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に 伝えたりする能力を伸ばす。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4		・川島永嗣さんの言葉を読んで彼の信条や夢にふれて、人生を豊かにする	24	課題提出
	L1 Young People,	ためのヒントとする。	時間	春課題テスト
	Be Ambitious	・「S+V+O(=it)+to 不定詞」の用法を学ぶ。		
		・「 $S+V$ (知覚動詞) $+O+C$ (原形)」「 $S+V+O+C$ (過去分詞)」の用法		
5		を学ぶ。		中間考査
5	L2 Dear Juliet	・「ジュリエットクラブ」のボランティア活動を通して、悩みを打ち明ける人々	27	
		や悩みに答える人々の心理を読み取る。	時間	期末考査
6	English Grammar	・「現在完了進行形」「現在完了の受身」「不定詞の完了形」の用法を学ぶ。		音読テスト
	Adviser 1, 2	・「SVOC」「完了形」の復習		夏休み課題
7				
8	L3 Battle of the Pets	・イヌとネコのペットとしての適性をさまざまな観点で比較した文を読み、	29	課題提出
9	Dogs vs. Cats	各動物の共通点や相違点を理解する。	時間	夏課題テスト
		・「it is ~ whether節」「付帯状況」「助動詞+完了形」の用法を学ぶ。		
10	L4 What if?	・「もし~だったら」という願望についての可能性を考えながら、自然界の法		
		則や因果関係について学ぶ。		
		・「wish+仮定法」「仮定法過去完了」「ifを使わない仮定表現」の用法を		
		学ぶ。		中間考査
11	L5 Innovative	・世界の人々を救った画期的な製品が生まれた経緯について知るとともに	27	
	Products	アイディア誕生の背景を読み取る。	時間	音読テスト
12		・「S+V(be動詞)+C(=that/whyなどで始まる節)」「関係副詞why」		期末考査
	English Grammar	「関係代名詞+前置詞」の用法を学ぶ。		
	Adviser 3, 4	・「仮定法」「複文」の復習		冬休み課題
1	L6 The Power of	・日本のポップカルチャーが持つ外交力について読み、それを生かして	33	課題提出
2	Japanese	自分たちに出来ることは何かを考える。	時間	冬課題テスト
3	Pop Culture	・「強調構文」「挿入」「seem to 不定詞」の用法を学ぶ。		パフォーマンステスト
				学年末考査

観点	規準	評価方法
コミュニケーションへの	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーション	左記の観点を踏まえ、
関心・意欲・態度	を図ろうとしている。	①授業への取り組み
外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	(授業態度、質問・発言、学習 活動への参加状況など) ②提出物の状況
外国語理解の能力	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	③課題テスト・ハテスト ④音読テスト
言語や文化についての 知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとと もに、その背景にある文化などを理解している。	⑤パフォーマンステスト ⑥定期考査 上記①~⑥を総合して、100点満
		点で評価する

平成28年度シラバス

学番49 新潟県立加茂農林高等学校

教科(科目)	外国語(コミュニケーション英語Ⅱ)	単位数	3単位	学年(学科・コース)	3学	年(農業科)
使用教科書	WORLD TREK English Comm	nunication	Ⅱ(桐原	書店)	授業形態	選択
副教材	Harvest English Grammar Red Course in 20 Lessons (桐原書店) ビーコン英和辞典 第2版(三省堂)					
	WHAT'S UP? Elementary 2015-1	16(桐原書月	吉)			

1 科目目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり適切に 伝えたりする能力を伸ばす。

学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	Lesson 6	・日本のアニメやマンガが世界で高い評価を受けているという事実から、		春課題テスト
	The Power of Japanese	日本のポップカルチャーが持つ外交力を生かして自分たちにできること	18	課題提出
5	Pop Culture	は何かを考える。		
		「強調構文」「挿入」「seem + to 不定詞」		中間考査
5	Lesson 7	・ハロウィーンにまつわるシンボルを通じて、この風習の起源について		音読テスト
	The Origins of Halloween	探る。	20	
6		「the + 形容詞(分詞)」「関係副詞 when」「wherever /	20	期末考査
		whenever / however]		
7				
7-8	Lesson 8	・ロボット研究者・古田貴之の波瀾万丈の人生が、彼や彼の作るロボット		夏課題テスト
	Do Robots Have a Heart?	にどんな影響を与えてきたか、また日本の最先端科学技術についても	22	課題提出
9		知る。	22	中間考査
		「関係代名詞の非制限用法」「関係副詞の非制限用法」「whatever /		
10		whichever / whoever]		
11	Lesson 9	・経済的な理由で学校へ行くことができなくなったアフリカの少年が、独		音読テスト
	The Boy Who Harnessed	学で風車を作り、自国のエネルギー問題に取り組む姿を読み、「学ぶ」	20	パフォーマンステ
12	the Wind	ということについて考える。	20	スト
		「動詞の強調」「倒置」「省略」		期末考査
1	Lesson10	・数多くの困難に遭いながら、世界最大の吊り橋をかけて、アメリカの人		
	A Bridge of Dreams	びとに勇気を与えた家族の物語を読む。		学年末考査
2		「割合を表す表現」「比較級を使った倍数の表現」 「no less than	25	
		+数詞 / no more than +数詞」		
3				

観点	規準	評価方法
コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーション を図ろうとしている。	①授業への取り組み (授業態度・発表の様子・学習活動への参加状況など)
外国語表現の能力	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	②提出物の状況 ③課題テスト・小テスト ④パフォーマンステスト
外国語理解の能力	外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。	⑤音読テスト ⑥定期考査 上記①~⑥を総合して、100点満
言語や文化についての 知識・理解	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとと もに、その背景にある文化などを理解している。	点で評価する。

教科	家庭(家庭基礎)	単位数	2 単位	学年	1年生
使用教科書	図説 家庭基礎 (実教出版)			授業形態	必修
副教材	新課程 図説家庭基礎 学習	ノート (実	数出版)		

1 科目目標

家族や生活の営みを人の一生とかかわりの中でとらえ、家族や家庭生活の在り方、子どもと高齢者の生活と福祉、生活の自立と健康のための衣食住、消費生活と環境などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、男女が協力して家庭や地域の生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

2 学習計画

月	学習項目	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	食生活をつくる	栄養・食品・調理、食品衛生などに関する基礎的な知識と技術を習得させ、	16	学習ノート、授業プリ ント、レポート、中
5		家族の食生活を健康で安全に営むことが出来るようにする。		間・期末考査、実習態 度
6	衣生活をつくる	衣服の機能や着装、材料などの基礎的な知識と技術を習得させ、家族の衣	10	学習ノート、授業プリント、作品提出、期末
7		生活を健康で快適に営むことができるようにする。		考查
8	住生活をつくる	住居の機能、住生活と健康・安全などに関する基礎的な知識と技術を習得	6	学習ノート、授業プリ ント、中間考査
9		させ、家族の住生活を健康で快適に営むことができるようにする。		クト、中間与生
10	自分らしい生き	人の一生を生涯発達の視点でとらえ、家族・家庭の意義を理解し、家族の	6	学習ノート、授業プリ
	方と家族	一員としての意識を持つ。		ント、中間考査
10	こどもとかかわ	子どもの発達、保育、福祉をとおして、健全な発達を支える親や社会の役	6	学習ノート、授業プリ
	る	割を理解させるとともに保育への関心を深める。		ント、期末考査
10	高齢者とかかわ	高齢者に対する正しい認識から介護の基礎など体験的な学びと役割を知	6	学習ノート、授業プリ
11	る	る。		ント、期末考査
11	社会とかかわる	生涯をとおして家族・家庭の生活を支える福祉や社会的支援について理解	4	学習ノート、授業プリ
12		する。 ノーマライゼーションの理念を土台とした社会をつくることが重要であ		ント、期末考査
		ることを理解する。		
12	消費行動を考え	消費者問題発生の社会的背景について考え、消費者保護に関する施策につ	10	学習ノート、授業プリ
1	る	いて知る。	10	ント、学年末考査
$\begin{bmatrix} 1 \\ 2 \end{bmatrix}$		現代の消費生活と環境のかかわりを理解させ、環境負荷の少ない生活を目		
_ <u>_</u>		指して生活意識や生活様式を見直せるようにする。		
	忽 汝始 (2 点 去 去			○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
3	経済的に自立する	生活の基盤としての家計管理の重要性や家計と経済のかかわりなどにつ いて理解する。	6	学習ノート、授業プリント、学年末考査

3 評価基準と評価方法

項目	内 容	評価方法
関心・意	家庭や地域の生活に関心をもったか。	授業・実習態度
欲・態度	生活の充実向上を目指そうとしているか。	学習ノートの内容
	学んだことを生活に生かそうとする実践的な態度を身につけたか。	授業プリントの内容
思考・判	家庭や地域の生活について見直し、生活課題を見つけ、その解決を目指して思考を深めてい	レポート・作品の内容
断·表現	るか。	定期考査の成績 など
	衣食住等に関する基礎的・基本的な技術を生活の中で表現できるか。	
技能	衣食住等に関する基礎的・基本的な技術を身につけているか。	上記を総合して評価す
知識	家庭生活の意義や役割を理解したか。	る
理解	家庭や地域の生活を充実向上するために必要な基礎的・基本的な知識を身につけているか。	